

赤学年通信

5月29日

No. 5

藤沢市立長後中学校

行事から「得ること」はとても大きい

5月22日(水)に体育祭が行われました。この日のために練習や準備をしてきたみなさん、本当にお疲れ様でした。また、体操服の洗濯や水筒・お弁当の準備など、支えてくださった保護者のみなさま、ご協力ありがとうございました。さらに今年からPTA役員の方々が、生徒応援席に水分補給所を設置してくださいました。お陰様で、心配していた熱中症(体調不良を含む)も0人で終えることができました。

今回の体育祭では、多くの人と関わり、アドバイスをもらい、時にはゆずり合ったり我慢したりして、コミュニケーションをとりながら相手の思いや感情を知ることができたと思います。その経験こそが、みなさんを大きく成長させ、幅広い考え方や見方を広げることにつながるのです。

‘思い’があるから人は動く、心がゆれる

閉会式でブロック長が泣いていましたね。こみ上げてくる感情はどこからきたのでしょうか？優勝できなくて悔しかったから？中学校生活最後だったから？みんなが一生懸命頑張ってくれたから？など、涙の理由は色々あるでしょう。

行事でも、部活でも、どんなことでも、「思いの強さ」が感情(例えば涙とか)に表れるのではないのでしょうか。何かを成功させたい！と思い、そのために何をすべきか考えて準備して、予想もつかない時間を費やして。それが終わったとき、もっと何かできなのではないか？とか考えたり、ようやく終わった・・・と安心感を抱いたり、切なかったり、さみしかったり、ごちゃ混ぜの感情がこみ上げてくるものです。その感情に素直な人は素敵な人だと思います。なにより、物事に対して‘思い’があることは素晴らしいことだと思います。



体育祭で自分の感情を出せましたか？次の体育祭で今年の自分をこえることができますか？

次に力を注ぐのは勉強だ!

昨日(28日)から試験前部活動停止期間となりました。つまり、勉強に時間を使うことができるようになったということです。先日、プレテストを受けて「やばい、やばい」とか、「人生やり直したい」と話している人もいますから、そろそろ気合いを入れて勉強しなくちゃ、と思っているころですね。

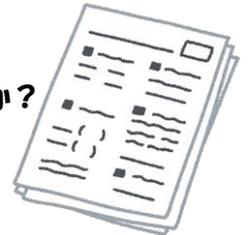
成績だけのための学校ではないけれど

学校では教科の他にいろいろな学習をします。集団での生活、社会人としてのルール・マナー、友達づきあい、部活動、行事などすべてが学習です。ですから、学校は成績のためだけにあるものではありません。でも、やはり勉強する場ですから、勉強して自分の理解度を知ることが、誰にとっても最重要事項です。

でも、何をすればいいのかわ

よく言われるのが「テスト勉強と言っても、何を勉強していいのかわかりません」という言葉。そんな疑問を持っている人は、範囲表の‘学習のポイント’をよく読んでみましょう。それでも分からない人は、教科の先生に直接聞くことで解決するかもしれません。もしくは、頼りになる友達とか部活の先輩とかに聞いてもいいかもしれません。そうやって自分の疑問を解決することも大事な学習なのです。

昨日から各教科で「質問会」が始まっています。この機会に、積極的に参加してみましょう。もしかしたら、思いがけない情報がゲットできるかもしれませんよ。



テスト前質問会

持ち物は、授業で使っているもの。帰りの学活後1時間程度です。

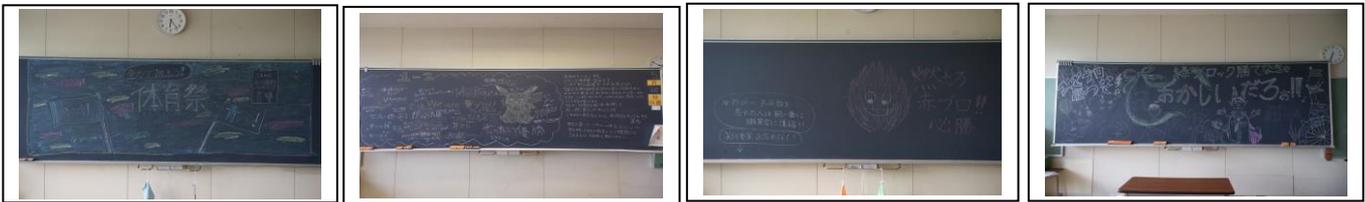
5/28 (火)	5/29 (水)	5/31 (金)	6/3 (月)
理科	理科	理科 英語	数学



学校の様子



5/22 体育祭の裏? 教室で昼食時間



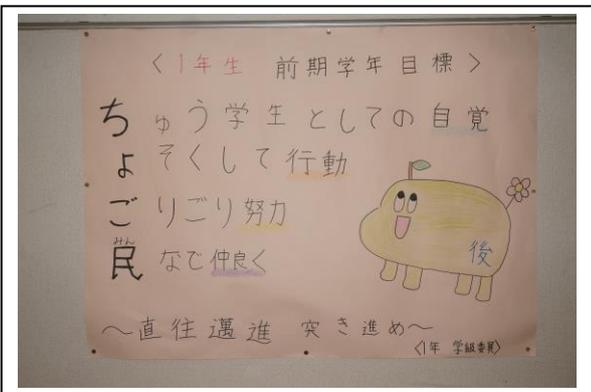
5/22 体育祭 もうひとつの風物詩 黒板アート (見えづらいのでHPをご覧ください)



5/22 体育祭 生徒だけでは創れない行事 先生方も熱く語る

👑 体育祭 1学年の記録 👑

80m走 優勝：赤ブロック 大縄とび 優勝：黄ブロック JUMP JUMP 優勝：黄ブロック
 タイフーン 優勝：緑ブロック 学級対抗リレー 優勝：赤ブロック 綱引き 優勝：緑ブロック
 学年種目 優勝：赤ブロック なわとび1,2,3 優勝：赤ブロック ブロック対抗リレー：青ブロック



学級委員が作成した前期学年目標掲示物
『ちよご民～直往邁進 突き進め～』

(文責：清川)



体育館に行く渡り廊下に今年もツバメの巣ができました。温かく見守ってあげましょう。

子どもに我儘をさせ、
ながら愛情と勘違いしていることが多い
 鳥は、自分の子どもが小さなときは、餌を運んだり、外敵から身を守ってやることに全力を尽くしますが、子どもが成長して、自分で飛んだり歩けるようになれば、「大自然の中で独立して生きていけるように」と容赦なく突き放してしまいます。多少の不自由は我慢させ、わがままは厳しく戒め、心身ともに逞しく鍛え上げることが親の真の愛情と言えるのではないのでしょうか。
 あるクラスに掲示していた文章の一部です。
 私自身、子をもつ親として、心にとどめておきたいと思いました。

